

夏 花火

開館二周年記念イベント「蔵まつり」開催！



感謝を込めて紅白もちの振舞い

高瀬蔵の開館2周年を迎え、4月29日(祝)に記念イベント「蔵まつり」が開催されました。10時の開場では、来場者にお祝いの紅白もちが振舞われました。また、駄菓子屋やわたがし、ポップコーン屋などが出店し、ステージでは、人形劇やさわか長寿財団の皆さんによる踊りの披露が行われ、館内は盛り上がりました。お昼からは、キムカズことRKKアナウンサー木村和也氏のトークライブが行われ、来場した200名のお客さんは、不慮の事故から再起するまでの体験談など、熱の入ったトークに聞き入っていました。



第17回高瀬裏川花しょうぶまつり



花しょうぶまつり期間中、高瀬蔵ではさまざまなイベントが開催されました。詳しくは次ページをご覧ください。

Infomation

高瀬蔵へ寄贈いただきました。



伝統が受け継がれる
高瀬しぼり木綿

まつり期間中に企画しました刺し子作品展は、刺し子研究の第一人者である下川富士子さんらのご協力により開催することができ、多くの来場者の方においで頂きました。下川富士子さんから高瀬蔵に飾って下さいと立派な高瀬しぼり木綿を寄贈いただきました。

まち歩きマップが完成！

このたび、高瀬花しょうぶまつりにあわせて、高瀬商店会と崇城大学秋元研究室の学生さんが企画・製作した「まち歩きマップ」が完成しました。学生さんが自ら歩いて選んだ高瀬名物(逸品)や店舗情報、歴史ある史跡・町屋の紹介などの情報が掲載されており、当法人もまちづくりに関わる事業の位置づけで支援・協力を行っております。今後、皆さんに活用していただき、高瀬及び中心市街地の賑わい創出の一助となることを期待しております。

(まちづくり推進部会)



高瀬商店会及び崇城大学秋元サテライト研究室が企画・製作した魅力満載の玉名・高瀬のまち歩きマップ

人気者のツバメちゃん！



蔵の入り口でお客さんを迎えてくれるツバメちゃん！今年は6羽の赤ちゃんが生まれました。お父さん・お母さんツバメは子育てに大忙しでした！(受付一同)

ケータリング(飲食提供)登録のご案内

蔵でのケータリング(飲食提供)の登録料は5千円です。登録されますと、高瀬蔵ホール利用のお客様にご紹介・ご利用していただけます。登録は一年更新となります。なお、法人会員(年会費2万円)になられますと、自動的に登録されます。

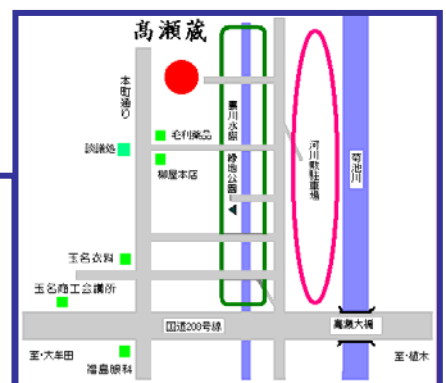
ボランティアスタッフを募集します！

イベント開催時のボランティアスタッフを募集します。ボランティアとして参加したいと思う方は、高瀬蔵までお問合せください。



NPO 法人 高瀬蔵

熊本県玉名市高瀬 155-1(〒865-0025)
TEL・FAX 0968-72-2480
E-MAIL takasegura@cup.ocn.ne.jp
URL <http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/indexf.html>
開館時間 10:00~24:00(イベント開始時間により変更あり)



花しょうぶまつり期間に行われた催しの数々！

第3回高校生デパート

『若蔵 wakakura』開催！

6月7日、8日の二日間、専大玉名校、玉名女子校、北稜高校の3校により賑やかに開催されました。仕入れや販売方法などに工夫をこらし、それぞれに特徴のあるデパートで玉名女子高の山田沙也加社長のあいさつをスタートに多くのお客様で賑わいました。これまでと違い平日開催の為、昨年より来場者数が減少したこと、北稜高校が1日だけの参加になったことなどを課題として来年に向けて考えていきたいと思えます。（商店会イベント部会）



若さあふれる『若蔵』会場

骨董ファンが集結！高瀬蚤の市

5月25,26,27日の3日間、今年で3回目となる「高瀬蚤の市」(菖蒲祭骨董倶楽部主催)が開催されました。今回の出展で目を引いたのは、江戸時代の屏風。蔵の雰囲気によくあっていますね、と来場者。初日はあいにくの雨でしたが、土日は骨董ファンや花見客で賑わいを見せていました。



花しょうぶまつり窯元展

5月28日～6月3日に開催された花しょうぶまつり窯元展は、今年で三回目となり、多くのお客様が、花しょうぶと高瀬蔵、それに地元の焼き物との組み合わせを堪能されました。

入場者数は約1万人となり、昨年と比べると素通りするお客様が減った事と、夕方6時以降のお客様が増えた事は喜ばしく思います。この窯元展が「高瀬裏川花しょうぶまつり」期間中のイベントとして定着してきたのだらうと思います。

展示の仕方や品揃え、企画充実等の課題も多いですが、来年も是非やらせていただき、多くのお客様に喜んで頂きたいと思っております。

(荒尾・玉名地域窯元振興会 中村)

たまな地域物産展

6月4～5日(月・火)高瀬蔵にて通算5回目となる「たまな地域物産展」が開催されました。主催は、平成23年春九州新幹線全線開通、新玉名駅(仮)新設に合わせ、ブランド品を開発、販売しようと組織されたブランド協議会によるもの。今回は26事業所が出店。工芸品を手作りする体験コーナーも設置され、多くの女性客で賑わっていました。（玉名ブランド協議会）



来館者に楽しんで頂こうと、刺し子・押し花の体験コーナーが設置されました！

刺し子作品展

～ 下川富士子の世界～

5月17日から23日までの一週間、伝統文化刺し子の作品展示をさせていただきました。大きな梁と天井の高さをうまく利用しながらの展示に蔵と刺し子はとても相性がいいと皆さんからお言葉をいただきました。しょうぶの花がひとつ、ふたつと開きはじめたばかりでしたが、それでも県外からの来場者が多かったように思います。楽しい一週間でした。有り難うございました。

(刺し子研究家 下川 富士子)



花とのたわむれ

～ 押し花展～

高瀬花しょうぶまつりのしめくくりで開催されました花とのたわむれ押し花展では、たくさんの方々にご来場いただきました。ウェディングドレスやイヤリングなどの小物も押し花で飾り、携帯ストラップ、菜などの体験会もしましたところ、オリジナルの物ができたと、大変喜んで下さいました。普段、見過してしまう何でもない草花や自分で育てた花を押し花にして残す魅力を見ていただいたと思います。「心が安らぎました」と嬉しい言葉をたくさんいただきました。

(押し花サークル「ルピナス」の会)

高瀬夜噺

本年度第1回目となる4月20日の高瀬夜噺は、地元で観光ボランティアガイドをされておられる滝下速男氏をお迎えし、(旅先案内人が語る西南戦争の跡)と題して話していただきました。今年で西南戦争から130年を迎えると言う事で、西南戦争の際、一番の激戦地となった高瀬の会戦の事、また西郷隆盛の末弟として勇敢に戦い、高瀬で戦死した西郷小兵衛の生き様など、地元の間人としてもなかなか聞く事ができない内容に、参加者は聞き入っていました。

第2夜の5月25日は、黒寄京治氏をお迎えし、(日本刀のあれこれ)と題し、日本古来の文化の象徴とも言える、日本刀の歴史、種類、また西洋の剣との違いについて話していただきました。黒寄氏は銃刀法の免許を持っておられ、当日は、本物の日本刀5本を持ってきていただき、参加者は興味深く聞き入り、また、あまり見る事ができない日本刀の輝きに見入っていました。

第3夜の6月15日は、岱明町にお住まいの今村正氏をお迎えし、岱明町に流れる開田川をホテルが住む環境にするまでの取り組みについて、苦労話を話していただきました。当日は、今村氏自ら作成されたホテルの紙芝居も披露され、今、旬の環境問題についても、ホテルの話を通して、改めて考えさせられた日となりました。



第1夜「旅先案内人が語る西南戦争の跡」

滝下 速男 氏



第2夜「日本刀のあれこれ」

黒寄 京治 氏

(文化部会)